

平成 30 年度 栃尾地域ワーキング 検討状況報告書

平成 31 年 1 月 24 日 更新

部会構成メンバー	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉協議会栃尾支所 諸橋 ・ ボランティアセンター 阿部 ・ 栃尾支所市民生活課 大崎 ㊦障害者相談支援センターとちお 諸橋 ㊦障がい者支援センターあさひ 松崎 ㊦長岡市障害者基幹相談支援センター 両田・五十嵐 	
会議開催経過	議題・検討内容
【第 1 回】 平成 30 年 7 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自立支援協議会の説明 ・ ワーキングの経過及び今年度の取り組みについて ・ 具体的取り組みスケジュールの決定
【第 2 回】 平成 30 年 8 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート内容の検討 ・ DVDの放映やチラシの設置について(アクションプランの確認)
【第 3 回】 平成 30 年 9 月 11 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート内容の検討 ・ 今後のスケジュールについて
【第 4 回】 平成 30 年 10 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート結果の内容の共有 ・ アンケート後の話し合いについて ・ 今後のスケジュールについて
【第 5 回】 平成 30 年 11 月 7 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周知する(アンケート実施先への返答)内容について ・ トチオンガーセブンを活用した福祉送迎サービスのPRについて ・ 今後のスケジュールについて
【第 6 回】 平成 30 年 12 月 6 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11 月運営会議の意見を踏まえて、アンケート結果の再検討 アンケート結果のつなぎ方について ・ トチオンガーセブンを活用した福祉送迎サービスのPRについて ・ 今後のスケジュールについて
【第 7 回】 平成 31 年 1 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート結果の返答について ・ アンケート結果を含めたワーキングの取組の地区社協へのつなぎ方について ・ トチオンガーセブンを活用した福祉送迎サービスのPRについて ・ ワーキングの振り返り・評価
取組方針 今年度の	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度作成したアクションプランに沿った取り組みを実施する。
議へ特に報告が (全体会・運営会 道揚・成果)	<p>【第 1 回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワーキングの経過及び今年度の取り組みについて確認を行った。 ・ 今後の具体的取り組みについては、確認できた課題に対してアクションプランに沿って、優先順位を付けて実施する。 ・ 送迎ボランティア全面ではなく、ボランティアを増やしていく取り組みを行う。

	<p>【第2回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート内容の検討を行った。 (目的の確認、対象者、設問内容、実施方法、実施時期) ・DVDの放映やチラシの設置について (アクションプランのモニタリング)
	<p>【第3回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートのたたき台をもとに、内容を検討し、アンケートを完成させた。 ・アンケート実施にあたり、今後のスケジュールと話し合いの開催日について検討した。
	<p>【第4回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果の内容について、共有を図った。送迎福祉サービスの認知度はあるが担い手不足でサービスに繋がらないことや、移動に関しては栃尾地域の大きな課題だと再確認できた。ボランティアを増やすことや制度を知ってもらうための話し合いが必要か検討し、栃尾支所でも移動に関して協議の場があることから、話し合いは行わず、アンケート結果の報告と福祉送迎サービスの現状の報告に変更した。
	<p>【第5回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果のまとめ方、アンケート実施先への返答内容について検討、考察を行った。 ・考察から、福祉送迎サービスの問題だけではなく、新たなサービスの創設や、福祉送迎サービスの拡大等が必要であることが分かった。方法として、地区社協や支所地域振興課にもつなげていく必要がある。
	<p>【第6回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月の運営会議での意見を踏まえて、アンケート結果の考察とつなぎ方について検討した。ワーキングとしては、栃尾の移動の課題について検討を重ね、アクションプランを立てて取り組みをしてきた。取り組みとしては一回りしているため、次につなげたい。 ・アンケートの返し方としては、ワーキングの取り組みの経過について伝えた上で、アンケート結果からわかった具体的なこと(透析の方が大変、付き添いの人がいない、金銭面の負担が大きいこと等)や、福祉送迎サービスを必要としている人は潜在的にいること等を考察に盛り込む。また、ボランティア確保等について、協力をお願いしたい旨も伝える。 ・アンケート結果については、福祉送迎サービスに焦点をあてて検討し、取り組みを行ってきたため、地区社協につなぐ。アクションプランを実施してどうだったか、ワーキングの取り組み結果をまとめて伝える。地域でボランティアをする人がどれだけいるかも含め、ボランティアの確保は困難な状況である。 ・福祉送迎サービスの充足だけでは解決できない課題であることから、行政へもつなぐ。行政へのつなぎは、運営会議を通して、福祉課長に改めてお願いする。 ・トチオンガーセブンを活用した福祉送迎サービスのPRについては、社協内でどのような依頼をするか検討してもらう。

	<p>【第7回】</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート結果の返答については、ワーキングの設置の経過と取組み内容、アンケート結果から把握できた内容（栃尾の移動に関する実態調査の結果について、別紙にて作成）、福祉送迎サービスの資料と一緒にアンケート対象機関に今年度内に郵送する。今回のアンケートを含む取組み内容については、地区社協につなぐ。 3月号の社協だよりにて、トチオンガーセブンとコラボして、福祉送迎サービスの特集記事を掲載予定。今後、写真入りのボランティア募集のチラシを作成し、地域のイベントでのチラシの配布や、ホームページを利用したPRに努めていく。（栃尾地区社協の取組み） 今年度のワーキングの振り返り・評価を行った。
<p>今後の検討の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> 第7回のワーキングにて、今年度のワーキングは終了。
<p>運営会議への 伝達事項等</p>	